

1

社長とは 事業を経営する人である



一倉 定

食器メーカーの二代目社長である加藤は、経営不振に悩んでいた。加藤は意を決して「社長学セミナー」に参加する。そこで一倉に「バカタレ!」と一喝されてしまうが、正しい「ワンマン経営」についての気迫の指導を受ける。

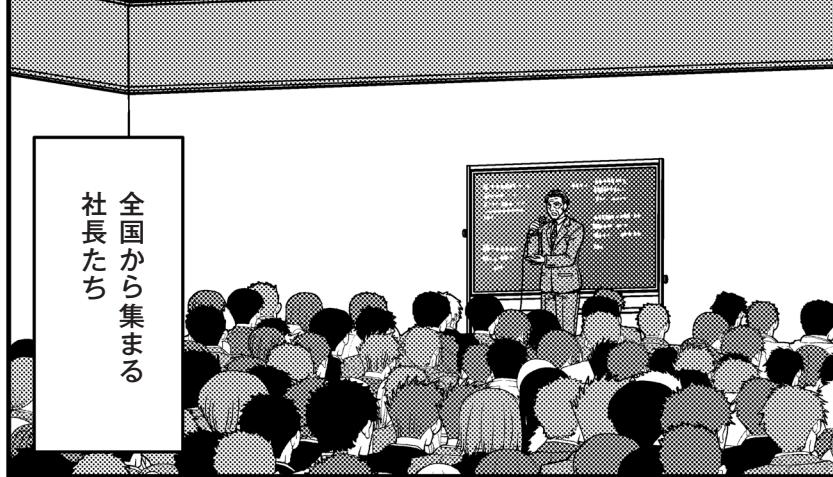


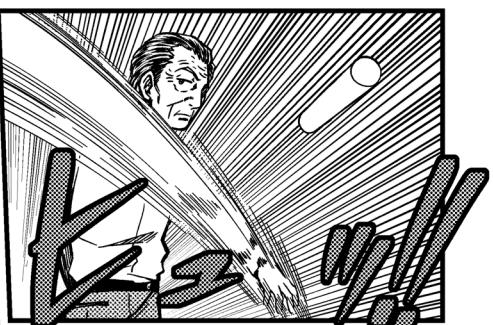
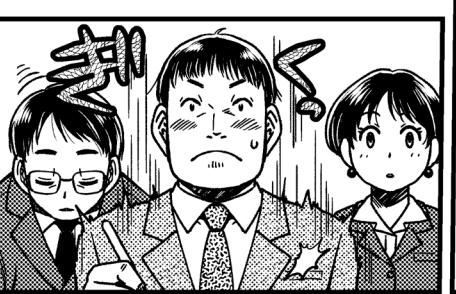
この

バカタレが！

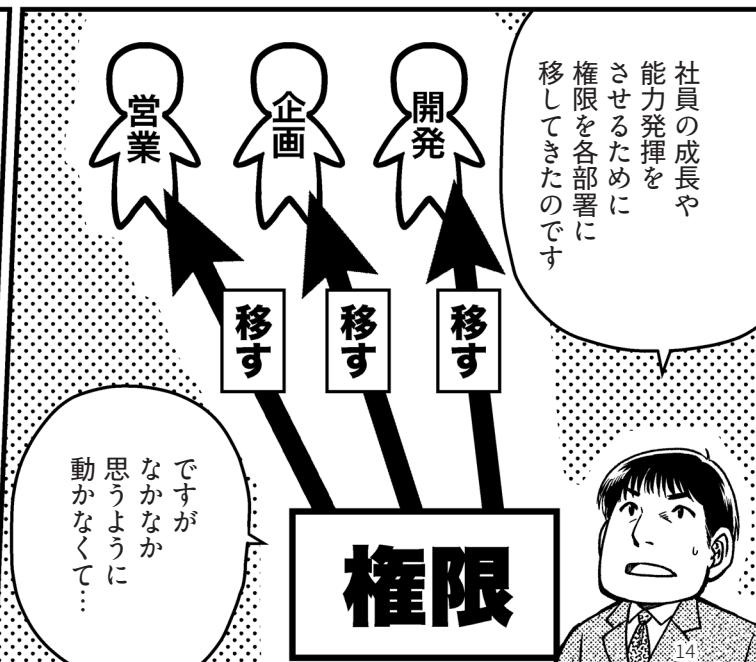


一倉定の
社長学セミナー
を受けるべく

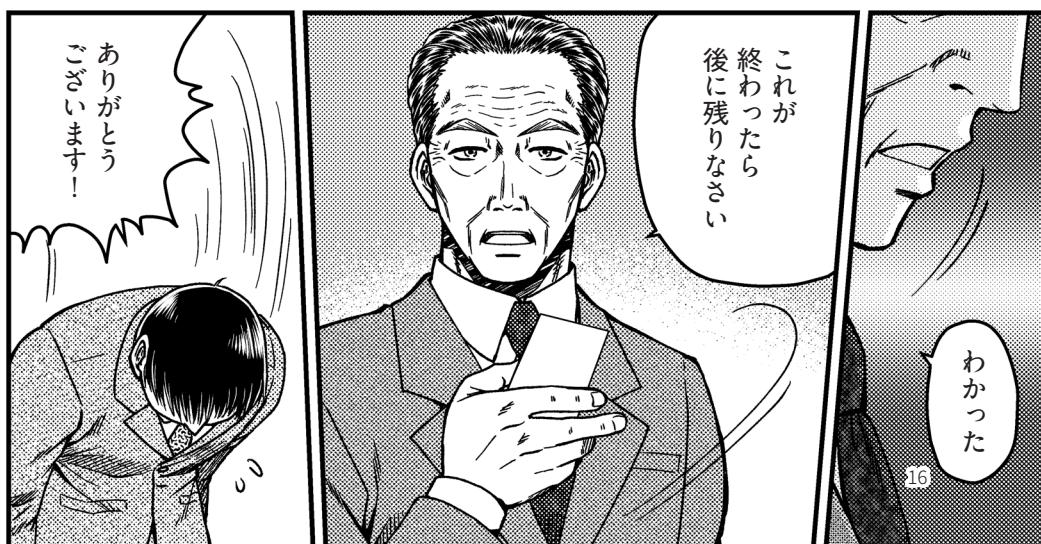




セミナーが
終わっても
一倉に相談したい









正しいワンマン経営
こそ事業繁栄の
本質である

事業といつもの
“やり方”的上手下手で
運命が決まる訳ではない
“決定”によって決まるのだ



まず社長が
会社をどうするかの
道筋とゴールを
決める

その道筋を
どうたどつて
いくかが社員の
責任だ

車で行くのか
自転車か
あるいは徒歩か…
手段は社員が
決めることだ…

なるほど…

今日のセミナーで
お話しして
くださった

まず社長が
ゴールを決定し
明確に示す
必要がある

社員に仕事を
任せるには

民主経営がなぜ
ダメなのかやつと
わかりました！

その決定
には当然

はい

会社は自然に
発展していく

そのうえで
任せることが
できたら

付随する
方針や
留意点も示す



セミナーで話した
決定権のことを
覚えているか？

確か…

110
ララララ



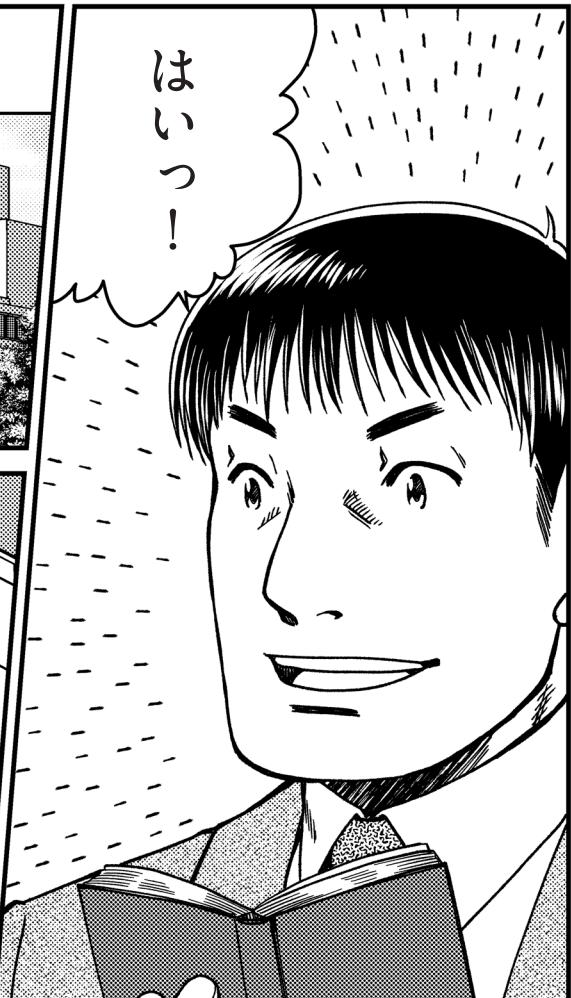
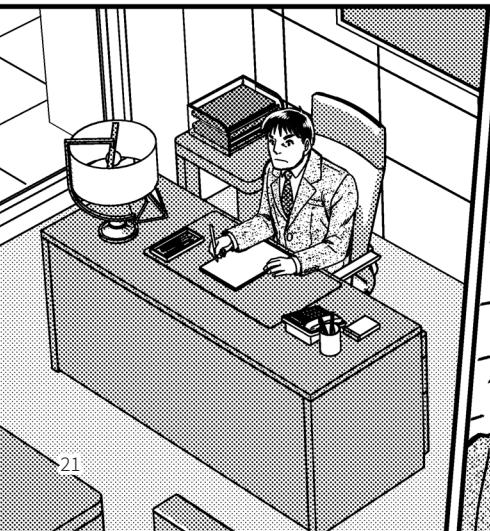
会社の運命を
決める「決定」
ができるのは

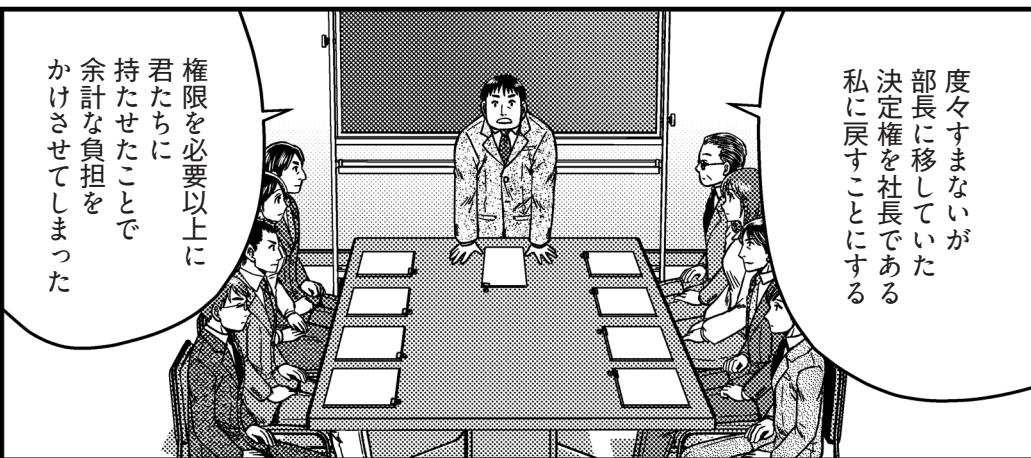
全責任を負う
者のみが持てる
権利である

決定権は
結果に対して

①決定権は結果に対して
全責任を負う者が持てる
権利である。

社長ただ
ひとりしか
いないんだ





全責任は
私がとる
だから…

君たちは存分に
自分の仕事を
してくれ！

数年後

